

平成 24 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー
 代 表 者 名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
 吉田 博昭
 (J A S D A Q ・ コード番号 : 4358)
 問 い 合 わ せ 先 常務取締役 経営戦略本部長 上窪 弘晃
 電 話 番 号 03-5434-1586

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 9 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 24 年 7 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期 (累計) (平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 たり 純 利 益
前回予想(A)	11,000	450	100	50	円 銭 0.84
今回修正(B)	11,800	770	480	100	1.67
増減額(B-A)	800	320	380	50	—
増 減 率	7.27%	71.11%	380.00%	100.00%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 7 月期第 2 四半期)	11,433	692	483	396	10.51

(2) 修正理由

当社の主事業である広告業界におきましては、昨年の夏場以降、TV-CMを中心に需要の回復傾向が見られます。そのような業界環境のもと、グループ一体となった積極的な営業展開を図った結果、新規案件の受注及び既存案件の拡大に到り、TV-CM事業が好調に推移いたしました。その結果、売上高につきましては、前回予想より800百万円増の11,800百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、上述の売上高における増加要因と、マーケティング・コミュニケーション事業における不採算部門の閉鎖・撤退及び収益管理の徹底による収益力強化、一部拠点の削減等に伴う販売費及び一般管理費の削減が奏功し、前回予想より320百万円増の770百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、2011年8月5日付けで締結したシンジケートローン契約に伴う198百万円の手数料を営業外費用として第1四半期に計上したものの、前述の営業利益と同様の増加要因により、前回予想より380百万円増の480百万円となる見込みです。

四半期純利益につきましては、2011年12月20日開示の『Great Works ABの株式及び貸付債権の譲渡』に伴い、370百万円の特別損失が発生いたしました。前回予想発表時点では、同特別損失の発生は想定しておりませんでしたが、経常利益と同様の増加要因により、同特別損失の影響を吸収し、更に当初予想より50百万円増の100百万円となる見込みです。

なお、通期連結業績予想については、現時点において平成23年9月15日付「平成23年7月期決算短信」にて発表した数字から修正はございません。通期業績予想につきましては、現在精査中ではありますが、通期業績予想数値が確定次第、速やかに開示いたします。

以上